

## 200カイリ水域内漁業資源総合調査

海老沢明彦、金城清昭

本調査は国庫委託を受けて昭和52年より継続実施しており、調査結果は所定の様式で水産庁に報告し電算処理を行う。

### 目的及び内容

沖縄県水域内における重要漁業資源を、科学的根拠に基づいて資源管理を行うのに必要な漁獲統計および生物情報を収集することを目的とする。底魚類については標本船として糸満漁協所属の深海一本釣船1隻、底立延縄船1隻を、伊良部漁協所属の曳縄船1隻を指定して漁場、魚種別漁獲量等の報告を受けた。生物測定調査は糸満漁協に水揚げされたアマミフエフキ、イソフエフキ（主として底延縄船により漁獲される）およびトビイカ釣船のトビイカを購入して測定した。卵稚仔魚群量調査は魚海況予報事業の沖合定線から3回、沿岸定線から12回の卵稚仔採集を行った。

なお本調査にあたり標本船の報告を快く引き受けてくださった方々、標本魚の購入に便宜をはかってくださった仲買人、および関係漁協の方々にお礼申し上げる。

### 方法

#### I 漁獲状況、漁業資源生物調査

##### イ) 標本船調査

糸満漁協所属の底立延縄船、深海一本釣船及び伊良部漁協所属の曳縄船を、標本船として指定して毎月の出漁日、漁場位置、魚種別漁獲量の報告を受ける。

##### ロ) 生物測定調査

糸満漁協に水揚げされるアマミフエフキ、イソフエフキの体長、体重、性別、生殖腺重量、成熟状態、胃内容物組成と重量を毎月40尾程度購入し測定した。トビイカについては、外套長、体重、性別、生殖腺（てん卵腺、輸卵管、ニーダム氏嚢）の重量及び交接の有無について7月から10月まで測定した。

#### II 卵稚仔魚群量分布調査

久米島北西沖合定線を5,8,2月の3回、沖縄島南部沿岸定線は毎月、金武湾沿岸定線は5,8,11,2月の4回口径60cmNGG54ネットを用いて斜曳採集を行った。

### 結果

水産庁指定の様式に記入し送付した。

ロ)については詳細は別途報告する予定である。